

食物アレルギーへの緊急時対応 体験型出前セミナー

2019年4月～8月の期間、宮城県内の保育施設に出向き、『食物アレルギーへの緊急時対応体験型出前セミナー』を開催しました。本セミナーは、食物アレルギーによる緊急時対応をより多くの教育施設の職員の皆様にご理解いただくことを目的に開催施設を募り実施しております。2019年度はこれまでに6施設で開催し、また県内の私立幼稚園新任職員向け研修会の中で講義を行いました。講師は小児アレルギーエドゥケーター資格のある看護師・管理栄養士の方々に務めていただきました。

セミナーの内容は、座学と事例を想定したロールプレイで構成されています。座学ではスライド資料や動画教材を使用して、食物アレルギー症状の概要と緊急時対応マニュアルを用いた正しい対応方法について知識を深めました。また、エピペン®トレーナーを使用して実際に自分の太ももに打ちエピペン®の使用方法について学ぶことができました。

ロールプレイでは、参加者が保育士・園長役になり、食物アレルギー症状が出た場面を設定し、食物アレルギーへの対応について学びました。実際に自施設に在園している園児を想定して行うことで、より実践的な演習ができました。また、考えられる様々なシチュエーションで実施し、互いにアドバイスし合うなど今後必要となる対応策なども確認できたようでした。今後も引き続き開催していくことで、教職員の方々が食物アレルギーに対する正しい知識をもち、緊急時には対応できるような体制作りを望みます。

